

## 匝瑳市健康づくり推進協議会会議録

平成23年5月26日（木）

13時30分から14時42分

匝瑳市保健センター集団指導室

[出席委員] 12人（内、代理出席3人）

橋場 永尚、江波戸 寛（代理 寺本 定男）、小窪 和博（代理 藤原 友紀子）、  
栗田 剛一、古谷 宣夫、押尾 悦子、越川 恭充、片岡 工、川野 多恵子、  
林 義雄（代理 椎名 正和）、池田 竹四、磯部 範夫

[欠席委員] 2人 梅原 一郎、菊池 紀夫

[事務局]

椿課長、椿班統括、小川主任管理栄養士、大木主任保健師、齋木保健師

1 開会 事務局

2 あいさつ 健康管理課長

3 会長の選出について 橋場永尚氏を会長に選出

3 議事 会長が議長となる。

(1) 「平成22年度保健事業の実施状況について」

(2) 「平成23年度保健事業計画について」

(3) その他

議長 会議の成立を宣言

(1) 「平成22年度保健事業の実施状況について」及び資料「平成22年度特定健診等実施状況」を事務局説明

【質疑・意見】

〈委員〉

がん検診の受診率が低いようだが、これは、健康管理課で実施している検診受診者のみの数字か。農協でも国保の被保険者の健診を行っているので、その数字も反映させるべきではないか。

〈事務局〉

農協の健診、人間ドックの数値を含められればよいと考えている。

〈委員〉

特定健診で、メタボの体重・腹囲・血圧で要指導の方の割合のデータがあれば教えてもらいたい。

〈事務局〉

資料がないので、後ほど回答したい。

〈委員〉

母親が施設に入っているにもかかわらず、大腸がん検診の通知が送られてきたが。

〈事務局〉

検診の登録をし、受診されると3年間は送られることになっている。

〈議長〉

無駄をなくすようにしてもらったらよいと思う。

〈委員〉

がん検診で要精密検査とされた者の受診率はどうなっているか。

〈事務局〉

受診者数になるが、胃がん検診で128人、大腸がん検診で85人、肺がん検診で52人、乳がん検診で207人、子宮がん検診で31人、前立腺がん検診で34人となっている。

〈議長〉

ヒブ、小児用肺炎球菌の対象者の違いはということか。

〈事務局〉

年齢により接種回数が異なることによるものです。

〈議長〉

匝瑳市では、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業を平成23年度で終了する予定か。

〈事務局〉

今後、医師会とも協議させていただくことになると思うが、国の事業が終了したからといってすぐに止められるものかどうか。今後、国が定期接種に移行させるかどうか等、動向を注視しながら決定していきたい。

〈議長〉

子宮頸がんワクチンは、供給量の不足もあって接種を延ばしているが、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種について、市として勧奨していく予定はあるか。

〈事務局〉

あくまで、任意接種であるので市として勧奨は考えていない。

〈委員〉

献血の推進について、献血者の年齢層などのデータを取り入れて普及に使ったらいのではないか。

〈議長〉

はたちの献血キャンペーンなどもやっている。

〈委員〉

最初に、若い時にやったかやらないかで、その後の献血が左右されると思う。

〈議長〉

献血では血液検査も行っているのでそういうメリットもある。

〈委員〉

子宮頸がんワクチンの対象者は、匝瑳市に住んでいる人になるのか。

〈事務局〉

市の住民が対象者になる。

接種医療機関については、4月1日から千葉県内全域で相互乗り入れ制度が開始され、匝瑳市外の接種協力医療機関でも接種ができるようになっている。

〈委員〉

接種に関して学校の養護教諭との連携はどうなっているか。

〈事務局〉

学校を通じて周知を行っているが、デリケートな問題もあるので現在積極的勧奨等は行っていない。学校としても難しい面があると思う。

〈委員〉

がん検診の受診率が低いと思う。かかりつけの医院で検査を受けている人もいると思うがその辺の調査はどうなっているか。

〈事務局〉

検診率は低い状況である。国は、目標を50%としているが、平成21年度の全国の市区町村が実施したがん検診の受診率は、胃が10.1%、肺がんが17.8%、子宮がんが21.7%、乳がんが16.3%、大腸がんが16.5%となっている。

市では、新たな対象者には個別に通知をしている。一度受診された方には3年間は通知を行っているほか、広報等で周知を行っている。また、がんの知識を深めることで、地域の人に伝え、受診率の向上を図ることを目的に、保健推進員に対して研修を行っている。

〈議長〉

議題（1）の「平成22年度保健事業の実施状況について」は承認することとしてよろしいか。

－異議なしの声－

〈議長〉

議題（1）は承認することに決定する。

（2）「平成23年度保健事業計画について」を事務局説明

【質疑・意見】

なし。

〈議長〉

（2）「平成23年度保健事業計画について」は承認することとしてよろしいか。

－異議なしの声－

〈議長〉

議題（2）は承認することに決定する。

〈議長〉

(3) その他について何かあるか。

〈事務局〉

先ほどの、メタボ出現率についてですが、要指導は、血圧では21.6%、脂質では36.3%、血糖では51.4%、腹囲は集団健診の数字ですが、男で40.6%、女で24.9%となっている。

〈議長〉

腹囲については、学会で見直しを行っている。健診の数値は生活習慣の改善のためのものなので、かなりきびしい数値となっている。

〈議長〉

福島原発の問題だが、匝瑳市では放射能検査をしているのか。

〈事務局〉

行っていない。消防署にガイガーカウンターがあり、避難者等については計測ができるようになっているが、地表を計るようなものはないと思う。

〈委員〉

八街でお茶に放射能が検出された。市でも前向きに検討してもらいたい。

－是非やるべきだとの声－

〈事務局〉

市の防災担当に伝える。

〈委員〉

農協では、3月19日に東京都の行った検査結果をもとに、3月20日から出荷を自粛した。検査も行っている。東電に対する補償請求は2億4500万円ほどになる。

〈事務局〉

水道水については、八咫水道企業団でホームページに検査結果を公表している。

また、健康管理課では3月25日に乳児のいる家庭に水のペットボトル2リットル分を配布した。翌日は給水車により水の配布を行った。現在の備蓄は3日分で、その後は防災担当で購入することとしている。

議長 閉会宣言